http://decfamily.p1.bindsite.jp/2013NEW/

We 25R

No.266　03/10/09

選択の基本

今日の学級タイムでは、来年度の選択に関する基本的な説明を、学年教務部の増田先生がしてくださる。その後、自由選択科目について、どのようなテキストを使って、どのような内容の講義がなされるのか、各教科の代表の先生方が説明してくださる予定である。

自由選択科目については、それぞれの教科の説明を聞いて選択してもらわざるをえない（特に、理科については、入試制度の変更にともなって変わる部分も大きい）が、選択の全体的な骨格については、例年とそれほど大きな変更があるわけではないので、この通信で紹介する内容を予習しておいてほしい。ちょっとだけでも予習をしておくと、複雑な話も頭に入りやすくなるはずだ。

＊

まず、全員が文系か理系かを選択する。その上で、

①**共通必修科目**＝クラス単位で受ける授業で合計13単位
現代文（２単位）、政治・経済（２単位）
体育（３単位）、リーディング（４単位）
ライティング（２単位）

②**選択必修科目**＝文系・理系ごとに受ける授業で、合計11単位（一部の人は10単位）
●文系＝古典講読（５単位）、英語Ⅱ（２単位）、地歴・公民（１科目４単位）
●理系＝数学Ⅲ（７単位）、理科（１科目４単位）

以上が午前中に設置される。これに学級タイムの１時間が加わって、５時間×５日間の25単位となる。

なお、文系・理系のクラス分けは、地歴・公民や理科の選択に基づいて、８クラスが交じりあう形で編成される。今年は文系が４クラス、理系が５クラスである。

③**自由選択科目**＝自分の進路に合わせて個人で10単位まで選択可能な授業
●文系＝数学Ⅱ（４単位）、地歴･公民の２科目目（４単位）、基礎理科（１単位×２科目＝２単位）の合計10単位が基本。
●理系＝数学Ⅱ（２単位）、理科の２科目目（４単位）、公民（２単位）、古典（２単位）の合計10単位が基本。

＊

クラスで受ける授業は13時間。そのうち、６時間が英語となる。文系の諸君はさらに２時間英語があるから、英語が３時間とか４時間あったりする日が出てくるかも。ははは。一方、理系の諸君は数学が必修選択で７単位あって、さらに自由選択で２単位とれば９時間である。ははは…ははは…ファイト！

国公立を志望する文系の諸君は、地歴・公民で２科目、理系の諸君は（基礎のつかない）理科を２科目選択するのが基本。そこで、午前中の必修選択の中で１科目を選択し、午後の自由選択でもう１科目を選択することになる。その場合、午後は眠くなりがちだから、「だからこそ」２科目を比較して、より一生懸命やらねばならない！と思う科目を午後にしてガンバルのがイイのではないかと私は思う。時間割製作の関係で、必ずしも希望通りにはならない場合もあるが、基本的な作戦は以上の通りである。では、考えよう！